

# あたたかいご寄付ありがとうございました

大切に活用させていただきます。

## 寄託金品

寄託金品をお寄せくださった団体や個人の皆様（敬称略・順不同）（平成28年1月～6月）

【寄託金】 **¥441,264**

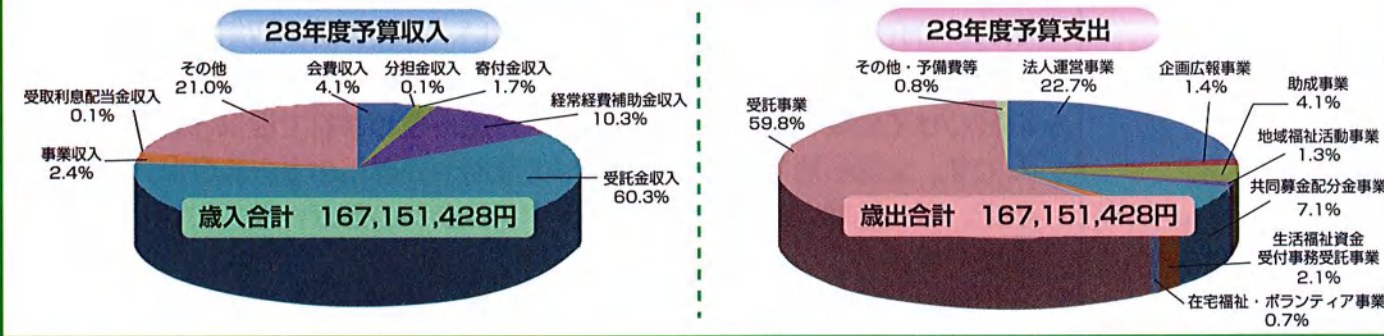
- (株)イトーヨーカドー労働組合溝ノ口支部
- 「てくのまつり」チャリティーバザー  
マイスター吉田氏桃束 豊組合ミニ豊売上金
- (株)ロード
- 高津区吟剣詩舞道連盟 理事長 香西 慶洲

- セレサ川崎農業協同組合 代表理事組合長 柴原 裕
- 川崎歌謡連盟 代表 山本 信平
- 高津地区一日一万歩歩こう会 会長 石塚 卯三夫
- 中田 雅章
- 津田山フリージャーズ 代表 井ノ口 雅子

【寄託品】 **長机、パイプいす、使用済切手、ミニチュア**

- ギャラリー&コーヒーかしの木
- 川崎市北部身体障害者福祉会館
- 下野毛長生会
- 飛田 恵子
- 匿名
- 川崎北見方郵便局
- 税理士法人 創新會計

## 高津区社会福祉協議会 平成28年度予算概要



## 第44回 高津区敬老会

日時 平成28年9月16日(金) 13:00～15:30

会場 高津市民館 大ホール(ノクティ2 12階)  
(川崎市高津区溝口1-4-1)

内容 第一部 式典：満90歳祝い、福祉功労者等表彰  
第二部 歌謡ショー：森若 里子  
コーラス：ママゴスペル Joyla!

定員 450名(先着順)

高津区在住で、今年満90歳を迎えられる方にお祝いしております。皆さまのご来場をお待ちしております。

問合せ 高津区社会福祉協議会 電話 044-812-5500

## 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!

今年も10月1日より、街頭募金や戸別募金など様々な場所で、ご協力をお願いさせていただきます。

10月1日～12月31日の共同募金運動期間中は、「ふろん太くん」バッジを始め、神奈川県共同募金会デザインのピンバッジやクオカード・図書カードを福祉パルたかつで取り扱います。

(なくなり次第取り扱いは終了します)

皆さまのあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。



フロンターレデザインバッジ



次号(平成29年3月1日発行号)から、地域包括ケアシステムの高津区社会福祉協議会の取組と、高津区内4つの地区社会福祉協議会の活動を順番に紹介します。

編集委員 横山 滋 神田 幸一 小黒 久男 成田 まゆみ 川辺 清三(順不同)

この広報紙は共同募金の配分金で作成されています。

高津区の福祉

# おあしす

希望の泉

第43号

平成28年9月1日



(社会福祉協議会の会章)

発行 社会福祉法人 川崎市高津区社会福祉協議会  
川崎市高津区溝口1-6-10てくのかわさき3階福祉パルたかつ内  
TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549  
http://www.kawasaki-shakyo.jp/takatsu/  
E-MAIL: info@takatsukushakyo.com

発行人 斉藤 二郎  
編集人 おあしす編集委員会

## 町会長から見た 高津区社会福祉協議会



子母口北町会 会長 遠藤 勝太郎

私が町会に携わって長い年月が経ちました。その間、色々な行事に参加して参りましたが、その行事の中に社会福祉協議会(社協)が多くなっていて、知っていませんでした。

三年前町会長に就任して、社協の実態を知るにつけ、いかに地域福祉に大きな役割を担っていたかという事を知りました。

区社協は町会、自治会の皆さん、民生委員児童委員、福祉関係者、各種ボランティア団体、当事者団体等が中心となって、昨年末川崎市が策定した川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに合致して、地域での仲間作り、孤独の防止、見守り等を目的に、ふれあい会食会、ミニデイケア等地域の実態に応じた様々な活動を展開しております。市からの委託補助事業も多く行っております。高齢者福祉事業として「いこいの家」の管理・経営、企画広報事業、高津区敬老会の開催等も行なっています。また、子育て支援や障がい

者の外出支援サービス事業等々、福祉活動を展開しております。

この様な事業を展開する経費は、市からの受託金や共同募金の配分金や寄附金、賛助会員の会費、事業収入等で運営しています。

東日本大震災から5年が過ぎ、また今年になって熊本地震が発生して、未だに避難生活を余儀なくされている多くの方がいます。災害の恐ろしさと、防災対策の重要性が強く認識させられます。常日頃から地域住民相互の繋がりがいかに大切であるかが重要であると思えます。

福祉活動に携わる役員の方々への負担は増加しております。社協活動に理解していただける地域住民への啓発が必要となっております。

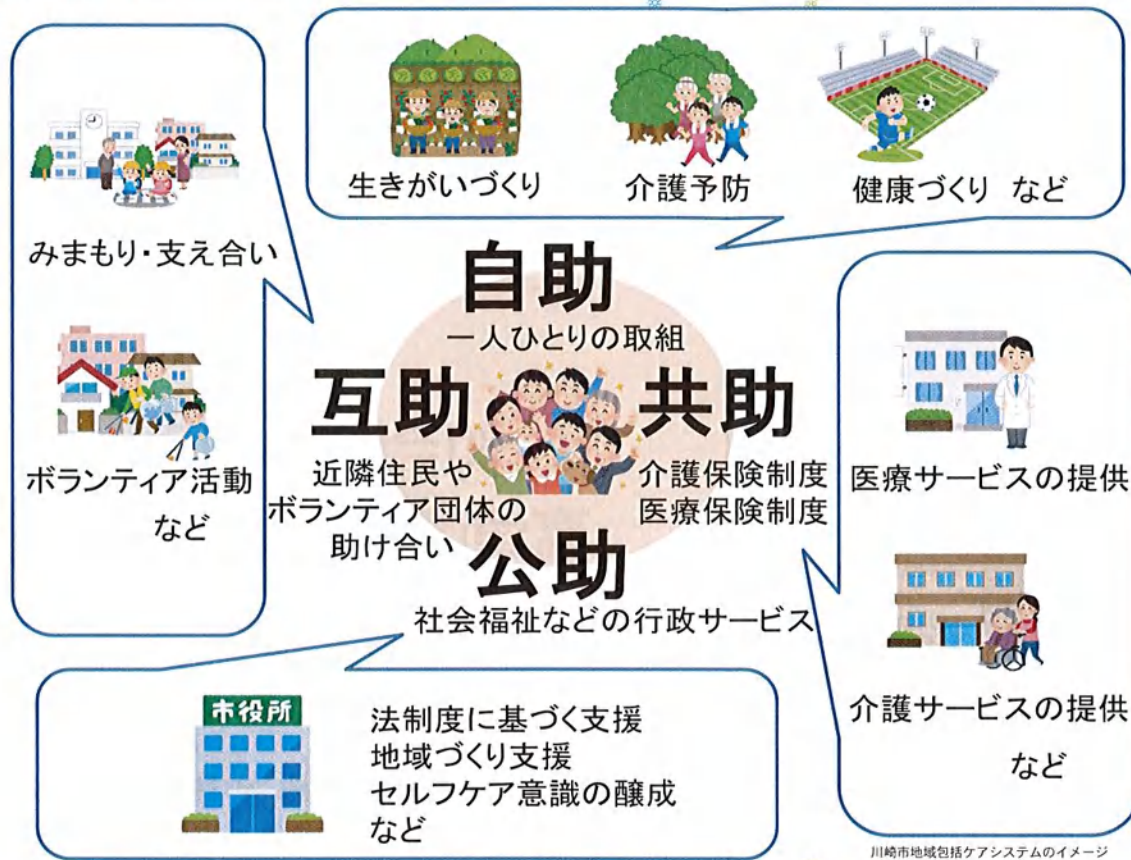
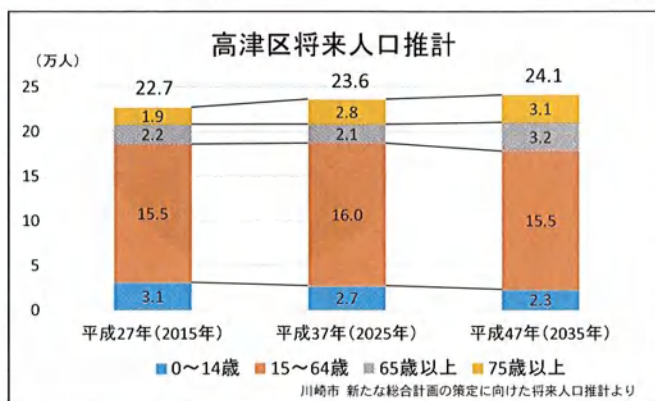
皆様方の区社協に対する一層のご理解とご協力を賜り、誰でも参加出来る体制作りが早急の課題だと思えます。

# 高津区社会福祉協議会の地域づくり ～地域包括ケアシステム～

## もうすぐやってくる2025年問題

2025年には、第一次ベビーブーム（昭和22年～24年）生まれの方々、いわゆる団塊の世代が75歳以上の年齢となることから、介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念される問題です。

高津区でも、川崎市の人口推計により75歳以上の方々の人口が、2015年現在の約18,700人から2025年には約28,100人となりますが、2025年以降も年を追うごとに増加していくことが見込まれています。



## 地域包括ケアシステムの考え方

年齢を重ねるにつれて、身体の衰えや病気などにより、これまでは当たり前に出ていたことができなくなることや、周囲の方と会う機会が減ってしまうことも考えられます。

地域包括ケアシステムとは、全国的に進行する少子高齢化に対応するため、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、これまで介護保険サービス、医療、住まい、介護予防の取組、地域活動、低所得者への支援など、制度ごとに提供されていたものを、その人の状態に合わせて必要な時に必要なサービスが組み合わせられて提供されるシステムです。全国各地で抱えている地域の課題や高齢化の進み具合は異なりますので、その地域にあった地域包括ケアシステムの形が作られていくことが必要です。

川崎市の特色としては、高齢者に限らず、地域で暮らすすべての方を対象にしています。だからこそ、高津区に暮らしている一人ひとりが、自分の問題として考え、話し合い、つながり、できることを実践していくことが大切です。

## 高津区社協の取り組み

### ～自助・互助～

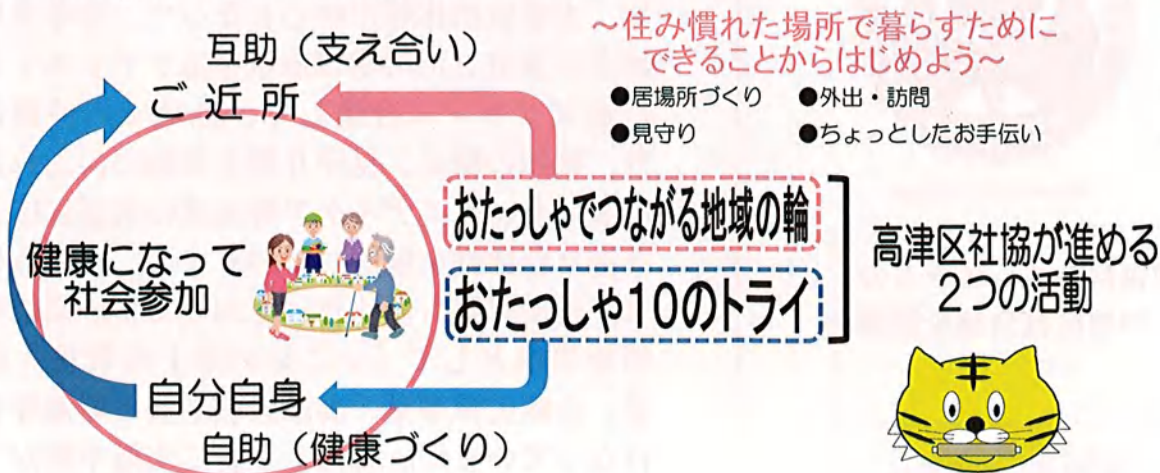
日本の平均寿命は、男性、女性とも80歳を超えています。健康でいられる、いわゆる健康寿命の平均は、平成25年時点で、男性71.19歳、女性74.21歳となっています。

住み慣れた地域で元気に暮らし続けるためには、まず、自分自身が健康であることが大切です。そのうえで自分の周りにも目を向け、隣近所とのつながりを持つこと（ご近所同士の支え合いや団体活動への参加）により、自分自身の生きがいづくりや地域の活性化につながっていきます。

高津区社会福祉協議会では、地域包括ケアシステムの中でも「自助・互助」の推進

に力を入れて取り組んでいます。具体的には、区民の方々の健康への意識醸成や、助け合う地域づくりを目標にした「おたっしや10のトライ」と「おたっしやでつながる地域の輪」を進めています。

## 地域包括ケアシステムの推進イメージ(高津区社協編)



### ○「おたっしや10のトライ」で健康づくりを

今日からできる、健康を意識して行う10個の項目です。住み慣れた地域で暮らし続けるためには、自分自身が健康であることがとても重要です。自分の健康を自分で意識し作り守る自助により、健康寿命を延ばし、いつまでも元気に暮らすことを目指します。

### ○「おたっしやでつながる地域の輪」で楽しい地域づくりを

愛着ある地域で暮らし続けるためには、ご家族の存在やご近所さんとのつながりが大切です。支え合う互助があり、暮らしていて良かったと思える楽しい地域づくりを目指します。

地域包括ケアシステムについてより詳しく、知りたいときは、川崎市ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/23-12-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html> または、川崎市地域包括ケアシステムポータルサイト <https://www.kawasaki-chikea.jp/> をご覧ください。また、高津区社会福祉協議会の取組は、高津区社会福祉協議会ホームページで随時お知らせしていきます。